

山ノ内町都市計画マスタープラン 地区別懇談会 南部地区

日 時：令和4年9月14日（水）19：00～20：00

場 所：ほなみふれあいセンター

出席者：15人

1 挨拶

2 自己紹介

3 資料説明

4 質疑及び意見

（地元） 計画の文章の中に赤い字と黒い字がある。例えば3ページの文章の中に黒い文字と赤い文字があります。この赤い文字というのは、どういうことなのか。現在もマスタープランがあるわけですが、そこを直した箇所がこの赤い文字ということなのか。赤い文字は図面に表示したということか。説明してください。

（事務局） 赤くなっているところは、計画で新しくなったところではなくて、4ページ目に図があります。図に落とし込んであるものを赤く表示しているだけでございます。それについての説明なのですが、3ページ目の「(3) 中心地域のまちづくりの方針」というところがありまして、緑四角の「中心地域におけるまちづくりの方針は、以下のとおりです」の右側に※がありまして、「下線箇所は、図面に表示した方針」ということでございます。

（地元） 今の話は、赤い線を引いてあるようなところは、右側の地図に具体的に当てはめてあるのだよということですね。そうであれば数字を入れて、この数字はここを言っているよということが分からなければ、1回見ただけで分かるわけがない。ちょっとそこのところ親切ではない。

（事務局） 大変失礼いたしました。

（地元） 計画というようなことで今決めておられると思うのですが、この計画というのは、町の総合計画や土地利用計画などとすり合わせてやっているということなのですか。都市計画道路の見直しということで、町内の主要幹線道路ですが、その辺が地域をつなぐ道路というのはいつ頃になるのか。この計画の中に入れてくるようなことがあるのか。こういう道路を造って発展させるという格好になっているが、先ほどから出ているように主要幹線道路、地域の生

活関連道路との連携をどのように考えているのか。その辺が計画の中で何年後にどういうふうにしていくのか。

(事務局) 都市計画道路の整備方針と個別具体的な、いつ頃にこういうことをやりたいといったものの具体的な数値は出ていません。あくまで、この計画は20年後を見据えた基本方針を定めまして、その後、個別具体的な計画を定めまして書いていくといった流れになります。

(事務局) 生活道路とか幹線道路とかの整備を先にやってくれ、何年後にやってくれとおっしゃることはよく分かります。そういうふうにしていらっしゃる方が多いと思います。ただ、その点については、皆さんもご存じだと思うのですが、まだ実施計画という、町の3年間の計画に上げ、予算協議を経て進めていくというスタイルでやっていくものであって、本計画は、あくまでも長期の方針なものですから、個別具体的な路線だとか、何年後にやるとか、そういうものについて記載はしておりません。

(地元) 4ページの図面のところに書いてある内容では、実際に今、町で計画的にやっているのは1本もないでしょう。そこを一応見直しということになっていますが、20年かけても今できなければ20年後にはできるわけがない。役場のところの前を通っている計画も、都市計画道路見直しと言っても、正直言って農免道路になり、県道になったが、役場のところに都市計画路線があつて、今の県道を早く広げてもらえればいいのだが、早くやってもらいたい。

聞きたいのは、都市計画に小学校統合による空き教室の利活用の検討ということが入っていて、東小学校も小学校として使われることになる。ここに入っている西と南は、都市計画道路の計画には入っていないと思うが、小学校の統合問題も将来的なところでいけば大きな問題だから、早めに町の方針を、決めてもらえばいいのではないかと思います。

(事務局) 確かに都市計画道路につきましては、長い間進んでいないというのはおっしゃる通りです。ただ、いつまでも都市計画法の中でこのままでいいというわけにはいきませんので、今回見直しということで改めて、このマスタープランの方にも挙げています。この見直しというのは、廃路線にするのか、幅員を狭くするのか、あるいはルートを変えるのか、様々ありますが、そういったものに関して個別具体的な検討、協議につきましては、また改めてします。

(地元) 都市計画という言葉に引っ掛かっている。山ノ内町は都市だったのかなというのを改めて思いましたが、そういう法律があるから都市計画という言葉なのだろうと思う。地域の課題を見て、考えていることが道路だとか、建物だとか地域のゾーン分けだとか、コンパクトシティみたいになりたいとか、いろいろなものがあつて、そういうのが見え隠れしているのは分かるのだけれど

も、情報社会において、土地を買えばいい、建物を建てればいいという時代ではなくなってきたのです。例えば、外国人がどんどん増えている。情報のネットワークと言っているけれど、この計画では道路のことしか考えていない。情報のネットワークというのも、ものすごく大きな役割を占めている。それから交通にしても、道路を想定しているけれども、今やドローンだとかヘリポートだとか、いろいろなものが通る時代です。20年後を考えるのであれば、今の課題はこんなにたくさんあるのだよということを出した方が、「ここを重点的にしているんだな」ということも分かるわけで、その辺をちょっと考えていただければなと思います。

(事務局) 山ノ内の人口もあと20年後どうなるのか。例えば楽ちんバスのネットワークも動いていますが、そういったこと今後、維持継続といったものがあるいろいろな課題に挙がっております。参考にさせていただきます。

(地元) 今都市計画では人口の減少を食い止めるという感じで書いてあるのですが、これは人がいないところがまた減っていくのは当然ですし、人の流出を止めるのではなくて、もっとたくさん呼び入れる、魅力ある町にしていかなければいけない。人をもっと呼び寄せることを重点的にやっていかなければ。この町は、止めるというよりも減っていく。そうではなくて、来てもらうために誠心誠意やっていかななくては、町は本当に減って行って終わってしまうと思う。そういうことをもっと大々的に都市計画でやっていかないと意味がない話だと思います。

(地元) 要望として、東部の東小学校から社会体育館のところから急傾斜で通行止めになっているところがあります。あの場所は都市計画街路で、本来であれば、昔の国道につながる計画でした。みろくのところの地主さんが用地にできなくて止まっているわけです。現在は、そのお宅は新しい所有者に変わって、家も建てているのです。そういう時代の変遷があるのに、何で計画があるにもかかわらず、建物を建てたりするときに町もチェックを入れて、ここは昔から道路計画路線であって、重要なので、ぜひここは譲ってもらいたいという動きができなかったのか。

一方で、急傾斜地にはお金をかけておいて、南部の農村地帯は江戸時代のままみたいな道です。それで、われわれのお金かけて基盤整備して、そこへつながる町道を直してくれないのはおかしいのです。住宅地があるというのではなくて、これから機械化農業で畑へ行くのに広い道で道路交通、安心して行けるような道でなかったら耕作ができないわけです。町道を最低でも安全に行き来できる道にしてくださいと言ったのだけれど全然できない都市計画はないと思います。それを今日は言いたくて出てきました。業者に委託をして、立派な文章を書いて、国の方へ出せば通るようなものでなく、もっとわれわれが望むような計画にしてもらいたい。

南部の宮村湯田中停車線は格好良く隣のところへ行くようになっているけれど。そこまではできないと思っている。でも、中野市の近隣、とよく相談をして、お互いに譲り合いながら進めていく、そういう広域的な道路を進めないと、いつまでたっても駄目だし、財政難なのだから永久にできない。山ノ内の中でつながってないのは南部だけで、国道 292 号も 403 号も、立派になってしまった。292 号のところに土地を提供して協力しても、自分たちのところは全然進まない。ぜひ計画の中で、将来計画を見て進めていただきたいと思います。

(事務局) 以上をもちまして、山ノ内町都市マスタープラン南部地区の地区懇談会を終了いたします。ありがとうございました。